

# 「安くていい家をつくる会(愛ホーム)がカンボジアに学校を寄付」

～世界の恵まれない子供たちに「幸せのおすそ分け」を～



「子育て世代の家族こそ住まいを必要としている。だからこそ若い家族が安心して建てられる『安くていい家』を提供するのが我々の使命である。」

そう語る、愛ホーム(南門市 園部町)の高屋博文社長は、「子育て世代を応援する」という理念に沿って『安くていい家をつくる会』の仲間と協力して、カンボジアの子供たちのために学校を1棟寄贈することを決めた。

ポルポト政権の大粛清の傷跡がいまだに癒えないカンボジアでは子供の数に対して圧倒的に学校が足りず校を建てる費用も無いのが現実だと言う。

「なぜ学校を?」と聞いたところ「食料やお金もちろん大切だと思いますが、長い目で見て国を変えていくには何より教育が大切だと思うのです。そして私たちは建築業者だから建物で何か貢献したいなあと考えたのです。」

早ければ今年の夏には着工し、年末には完成するという。実は、愛ホームは創業以来、お施主様の住まいの引渡しが無事に終わるたびに「幸せのおすそ分け」という名前で1棟ごとに少しずつ貯をしてきたという。今回はその貯金に会社と職員、お施主様からの寄付を加えて学校を寄贈する。

「家づくりができるお施主様は幸せ、お施主様の喜ぶ顔が見られる私たちはもっと幸せ、この『幸せのおすそ分け』を恵まれない方々のために使おうと、積み立ててきました。」

オーナー(引渡しが終わりに入居しているお客様)の皆様も、自分たちの家づくりが世界の恵まれない人々の役に立っていることをきっと誇りに思ってくださいませ。今後ともライフワークとしてできる限り続けていきたい」と高屋社長は最後にそう語った。

## いつも心に太陽を!

～あなたの家づくりが遠い国の恵まれない子供に希望を与えます。～

### 家づくりは幸せがいっぱい...

「安くていい家をつくる」という私たちの考えに賛同してくれた多くのご家族が、私たちが建てさせて頂いた家で仲良く暮らしています。マイホームを持てるというのは本当に幸せなことです。そしてそんな幸せな家づくりのお手伝いができる私たちも同じように本当に幸せです。



▲まさに太陽のような笑顔を見せてくれました

### 幸せをわかちあう...

「そんなお施主様と私たちの幸せな気持ちを、苦しんでいる人、恵まれない人ともわかちあいたい...」私たちはそう考えました。そして無事に引渡しが一棟終わるたびに、本当に些細な額ですが貯金をしてきました。私たちはその貯金を「しあわせのおすそ分け」と呼んでいます。



▲記念樹も植えました。

### 学校が足りない...

カンボジアには小学校や中学校がまったく足りません。ポル・ポトの大粛清の傷跡がまだ癒えていないのです。それでも少しずつ社会が安定し徐々に数は増えてきましたがまだまだ十分とは言えないのです。

今わずか3年間で総人口の約3分の1が殺害され、すべての社会的基盤も破壊されました。もちろん学校の校舎も例外ではありませんでした。



▲教科書や文房具も足りていないのです

### 学校が500万円で建てられる!

カンボジアでは500万円あれば、子供たちが安全に学んだり遊んだりできる立派な小学校をつくる事が出来ます。私たちは「しあわせのおすそ分け」を使って、カンボジアの子供たちに小学校を寄付しています。私たちは建築会社ですから是非とも建物を寄付したいと考えたのです。

食べるものにさえ困っている人がいることはわかっています。教育なんか後回しで良いというご意見があることも事実です。しかし、遠回りに見えるかもしれませんが教育こそが平和への近道だと私たちは考えます。だから私たちはこれからも1棟でも多く学校を寄付していくつもりです。



▲子供たちは本当に喜んでくれました。



▼こんな立派な学校が500万円で建てられるのです。

